

☆ビュッフェ形式☆
 <重度障害者を支援する>実践者のための
視線&スイッチ入力のシンポジウム
in 盛岡! 

重度障害者にとって「視線入力」はそのポテンシャルの高さは理解されつつも、機器が高額であったり、使用方法が難しいなどの点から、気楽に活用できる環境にありませんでした。一方で、この数年で安価な装置も登場し、特にコミュニケーションや特別教育支援において大きな成果が認められるようになっていきます。また、依然として「スイッチ入力」が十分に活用されていない現状があります。

そこで、本シンポジウムでは「視線入力」のみならず「スイッチ入力」に関して、第一線で活躍する開発者・研究者・支援学校教員・当事者などを一同に集めて濃密なワークショップ（個別指導あり!）を行うこととなりました。

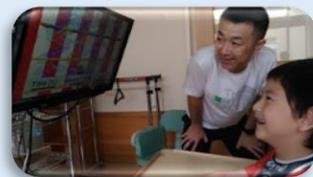
日時 2018年9月17日(月) 09時30分~16時00分
 前日の9月16日には懇親会を行います(詳しくは申し込みサイトをご覧ください)

場所 岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室1ほか

内容 事例紹介・個別指導・パネルディスカッション・ランチセッション

定員 約50名

参加費 一般 2,000円・学生 1,000円 ※資料代として
 障害当事者につき介助者1名まで無料
 呼吸器ユーザーの介助者は2名まで無料



講師



伊藤 史人
 島根大学総合理工学研究科 助教
 EyeMoT シリーズ, 振動フィードバックシステムパイプマン開発者



原田 稜大
 栃木県那須塩原市立黒磯中学校
 SMAI 型当事者, MMD クリエーター, 視線入力マスター



高橋正義(写真)/藤山健二
 秋田県立秋田きらり支援学校
 教諭, 支援学校での積極的な視線入力の取組



福島 勇
 福岡市立今津特別支援学校 教諭
 特別支援教育ブロガー&ユーチューバー



引地 晶久
 西部島根医療福祉センター
 作業療法士
 島根県内の支援入力実践者



菊池 直実
 岩手県立盛岡青松支援学校
 教諭



中島 勝幸
 株式会社ユニコーン 代表取締役
 miyasuku EyeCon 開発者



板倉 ミサヲ
 瑞雲荘(入所者) 77歳の女子高生
 スタイルでiPadフル活用
 四肢麻痺の車いす利用者



及川 勝利
 岩手県立花巻清風支援学校
 教諭

☆ E-mail, FAX, Doorkeeper のいずれかでお申し込みください ☆

申込はこちら!

件名: 盛岡場所 2018 申し込み
 本文: (以下の内容を明記してください)
 氏名/所属/職種/講師への質問(任意)
 宛先: E-mail ictiwate2017@gmail.com
 FAX 019-903-0332



Doorkeeper

締切は
 9月15日
 17時!



主催 島根大学総合理工学研究科 伊藤史人
 岩手県立大学社会福祉学部 小川晃子

協力 i-C⁺ いわた (特別支援教育 ICT 活用支援グループ)

後援 岩手県/岩手県教育委員会/岩手県社会福祉協議会
 一般社団法人岩手県難病・疾病団体連絡協議会
 岩手県重症心身障害児(者)を守る会

実行委員 実行委員長 伊藤史人/小川晃子/菊池直実 ほか